

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和8年2月12日）

1 主な報告等

(1) 健康セミナー「原因は、お酒だけじゃない!肝臓病の原因と対策」等の開催結果について

委員から、警察官は職業柄、防犯や交通安全など県民の安全と安心に気遣うと思うが、自身の健康にも気を遣ってほしい。ストレスも高く、勤務も不規則で健康を保つには過酷な職務であることは理解しているが、現在は健康管理の知識や方法もかなり普及している。あとは意識の問題だ。幹部からもしっかり指導し、具体的な改善策に取り組んでほしい。まずは、歩くことからだと思う。県内では車社会が定着してドアツードアの生活になり、県民は歩く習慣がないと言われている。ある民間企業では、希望者に万歩計を配布して1週間のランキングを社内に貼り出したところ、個人や各部署対抗で歩数を競い合うようになった。このように、みんなで楽しみながらチャレンジして健康になるようなアイデアなら継続できると思う。今のまま退職を迎えると、厳しい状態で高齢時代を過ごすことになる。在職中に生活習慣を改善することを真剣に考える必要がある。県警の保健師のアドバイスや周囲のサポートを借りながら、しっかりと健康管理に取り組んでほしい旨の発言があった。

(2) 令和7年中のサイバー犯罪の検挙状況等について

委員から、誰でも24時間、365日、世界各地どこからでも、サイバー犯罪を行うことができる。日本人は資産を投資よりも貯蓄として持つ傾向が強いので、世界中からターゲットにされることが懸念される。サイバー犯罪の特徴である匿名性の高さから、検挙が難しいだけに被害防止の取組が重要だ。最近では組織の代表者や弁護士を騙るメールが確認されていると聞いている。このような最近の手口をまとめて紹介するなど、積極的に情報発信をしてほしい。SNSにもニセ警察官とのやりとりの状況を公開しているものがあり、その中にニセ警察官が自宅へ押しかけるなどの発言も見られた。被害者はお金の心配だけでなく、自宅に押しかけられるかもしれないという別の恐怖感を覚えることになる。引き続き検挙はもちろん、県民がだまされないための施策にもしっかりと取り組んでほしい旨の発言があった。

(3) 第51回衆議院議員総選挙に伴う警護警備実施結果について

委員から、聴衆者の手荷物検査や警備犬による検索などの事前対策が確実に行われ、何事もなく無事に警護警備を終えることができてよかった。今後も、要人が来県する機会があると思うので、引き続きしっかりと対応してもらいたい旨の発言があった。

(4) その他

警察本部から、委員から御指摘のあった時々で変化するサイバー犯罪や特殊詐欺の手口をタイムリーに情報発信する仕組みにはすぐに着手したい。一部の都道府県では、警察本部長を騙る手口も出回っているほか、著名な投資家を騙る詐欺など様

々な手口が確認されている。県民にいち早く浸透させる方法を検討していきたい。また、「人は石垣」という言葉があるように、警察はまさに人で成り立つ組織だ。新規採用が困難となる時代にあっては、今いる職員のパフォーマンスをいかに維持していくかということが重要だ。職員一個人の健康はもちろんのこと、組織の体制維持のためにも職員の健康管理にはしっかりと取り組んでいきたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て意見・要望について
- ・ 警務関係報告
- ・ 犯罪被害者等給付金支給裁定に伴う公安委員会の裁定について
- ・ 令和8年第1回沖縄県議会（2月定例会）補正予算（案）の提出について
- ・ 審査請求の受付について
- ・ 訟務関係報告
- ・ 沖縄県公安委員会における情報セキュリティ基本方針に関する規程の制定について

(2) 刑事部

- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について

(3) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について

(4) 警備部

- ・ 警察職員等の援助要求について